

所 報

◆昭和40年度現地調査の実施

訪問国名	氏名	現職	渡航目的	期間
香港	東畑精一	アジア経済研究所所長	アジア経済開発・計画研究所理事会出席に伴う現地調査	8月24日から 8月30日まで
アルゼンチン, チリ, ペルー, コロンビア, ベネズエラ, パナマ	岡田憲二 細田浩二	大蔵省主税局税制第二課 " 国際租税課	「ラテン・アメリカ諸国の租税制度」に関する現地調査	8月30日から 10月30日まで
中国	尾上悦三 (他1名)	アジア経済研究所調査研究部東アジア調査室	中国経済に関する現地調査	9月23日から 10月9日まで

◆参与の新任

当研究所参与小林行雄氏の辞任に伴い、後任として文部事務次官福田繁氏が就任した。

◆主な人事異動

調査業務部長 西川次郎  
中国工業施設等の現地調査のため中国および香港へ出張を命ずる。

調査業務次長 山内武夫  
調査業務部長西川次郎海外出張中調査業務部長事務代理を命ずる。  
調査業務部海外業務課長事務取扱西川次郎海外出張中調査業務部海外業務課長事務代理を命ずる。

以上昭和40年7月20日付け  
荒川 英

長期成長調査室長を命ずる。

理事 田島秀夫  
長期成長調査室長事務取扱を解く。

管理部長 藤崎信幸  
総務部勤務を命ずる。

総務部長 山下三郎  
管理部長兼務を命ずる。

以上昭和40年8月1日付け

所長 東畑精一  
アジア経済開発・計画研究所理事会出席にともなう現地調査のため香港およびタイ国へ出張を命ずる。

昭和40年8月24日付け

◆海外からの来所

6月および7月中の海外からの来訪者はつぎのとおりである。

(1) 当研究所におけるインドネシア政治の研究状況について、調査研究部関係職員と意見交換のため、つぎの3氏が来訪した。

6月4日 アメリカ, ランド研究所, 社会科学部東南アジア室長 G. J. Pauker

6月5日 アメリカ, イェール大学准教授 H. J. Benda

6月7日 オーストラリア, モナーシュ大学講師 H. Feith

(2) 6月14日, アメリカ, サンフランシスコ大学教授呉元黎 (Yuan-li Wu) 氏来所, 当研究所における中国政治・経済の研究状況について調査研究部岸専門調査員ほか関係職員と意見交換を行なった。

(3) 7月29日 国立台湾大学農学部教授 黄際練 (Huang Ji Lian) 氏来所, 調査研究部関係職員と中国研究に関し意見交換を行なったのち, 所内を見学した。

(4) 7月29日 タイ, カセサート大学副学長 Prasert Na Nagara 教授来所 (外務省情報文化局 田中事務官同行), 所長, 統計部長, 調査業務部次長その他関係職員と懇談ののち, 所内を見学した。

◆在外職員の活動

(1) 転任

氏名	派遣地	課題名	転任月日
豊田俊雄	バンコック	低開発国における経済発展と教育計画	7月30日

(2) 出張

氏名	出張目的	出張地	期間
糸賀昌昭 (バグダッド)	イラクの土地開拓状況および農業水利に関する文献調査	バイルート	7月21日 ~28日
大内 穂 (ニューデリー)	全インド国民会議派委員大会に出席, ハイデラバードおよびコチンの大学関係者と意見交換, 諸工場調査	ハイデラバード, バンガロールおよびコチン	7月21日 ~29日
岩崎八男 (シドニー)	Queensland 州の炭鉱, 砂糖工場および木材工場等調査	Queensland 州 (オーストラリア)	7月26日 ~ 8月4日